

開催	第61回定期学術総会 多岐亡羊から外科本道へ
開催年月日	2006年7月13日（木曜日）14日（金曜日）15日（土曜日）
開催地	横浜市 パシフィコ横浜
会長名	 <p>幕内 博康 (東海大学医学部消化器外科学)</p>
会長講演	多岐亡羊から外科本道へ—食道外科医のあゆみ—
講演	<p>(特別講演)</p> <p>1. 技術開発—その着想, 創意工夫, 努力, そして, チャレンジ精神 (岡野 雅行) 2. ナノテクノロジーを応用した癌を治療する蠕動運動消化管ステント (山家 智之)</p> <p>(招待講演)</p> <p>1. The Current status of surgical treatment for gastric cancer in Korea -The activities of the Korean Gastric Cancer Association- (Young-Jae Mok) 2. Adjuvant Therapy of Colorectal Cancer:the NSABP Experience (Norman Wolmark) 3. Modern Training of Surgeons:Challenges and Opportunities (Carlos A Pellegrini) 4. Adjuvant Therapy for Rectal Cancer (Bruce D Minsky)</p> <p>(教育講演)</p> <p>1. 消化管癌の手術手技評価の臨床試験デザイン (福田 治彦) 2. 消化器癌に対する分子生物学の貢献 (森 正樹)</p> <p>(臨時特別企画)</p> <p>鼎談—大先輩に聞く, 消化器外科医の人生— (羽生富士夫, 掛川 暉夫, 安富 正幸)</p> <p>(特別企画)</p> <p>1. 医療安全を考える 2. 卒後教育必修化と消化器外科医 3. 消化器外科の将来を展望する—若手指導者の期待と構想— 4. 癌治療ガイドラインの功罪 5. この症例をどうする—外科的治療を中心に— (1) 食道癌, (2) 胃癌, (3) 肝癌, (4) 膵癌, 胆管癌, (5) 直腸癌</p>
シンポジウム	<p>(シンポジウム)</p> <p>1. 消化器癌に対するネオアジュバント治療の功罪-1. 食道癌治療にネオアジュバント治療は有効か-2. 胃癌治療にネオアジュバント治療は有効か-3. 直腸癌治療にネオアジュバント治療は有効か 2. 再び, 消化器外科医と病理医との対話—病理医より学ぶ— 3. SSIをいかに予防するか 4. 下咽頭頸部食道癌の諸問題 5. 食道癌の鏡視下手術はここまで来た (ビデオ) 6. 食道胃接合部癌に対する外科治療—経食道裂孔vs経開胸開腹— 7. 大腸癌多発肝転移の治療戦略 8. 成人生体肝移植の短期・長期成績向上の工夫 9. 膵頭十二指腸切除術をめぐる諸問題</p> <p>(ミニシンポジウム)</p> <p>1. cT4食道癌の治療 2. 進行再発直腸癌の治療戦略 3. 食道良性疾患の外科治療 4. 膵管内腫瘍の長期予後からみた治療方針の再考 5. 胆膵癌における化学療法の有効性 6. 消化器悪性腫瘍に対する分子標的療法 7. 大腸癌における術前診断の進歩 8. 肝門部胆管癌の治療戦略 9. 腹腔鏡下胃切除の長所と短所 10. 胃癌化学療法の適正化とその評価 11. 手術侵襲と生体反応</p>
パネルディスカッション	1. 機能温存手術の評価-1. 胃癌-2. 直腸癌 (高齢者) 2. 消化器外科と再生医療 3. 消化器外科と栄養管理 4. ドレーンの適正使用のあり方 5. 胃癌腹膜播種に対する治療戦略 6. クロウン病に対する外科的治療戦略 7. 肝切除手技の工夫 (ビデオ) 8. 消化器癌と分子生物学—臨床応用に向けて—
ワークショップ	1. 同時性異時性重複癌の外科治療 2. 胃切除後食道癌に対する再建術の工夫 (ビデオ) 3. 画像診断からみた中下部直腸癌治療の再評価 4. 門脈腫瘍栓合併肝癌—私はこうした— 5. ss胆嚢癌の治療戦略 6. 膵切除後再建術の工夫—絶対漏れない吻合を目指して 7. 外科的腹部救急疾患における諸問題
その他	<p>(ビデオセッション) 135演題 (一般演題:ポスター) 2,546演題 (ランチョンセミナー) 33題 (サテライトシンポジウム) 3題</p> <p>抄録集 </p>